

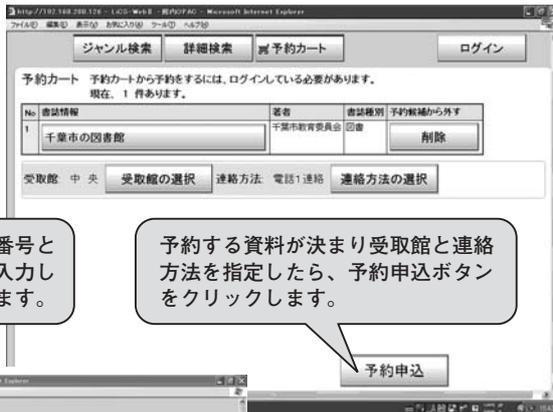
図書館だより

発行：千葉市図書館 <http://www.library.city.chiba.jp>

主な内容 コンピュータシステムの更新に伴い、
【1・2面】 千葉市図書館はこう変わります！

- 千葉市中央図書館
千葉市中央区弁天3-7-7 ☎043-287-3980
- | | |
|----------------------|-----------------------|
| みやこ図書館
(233-8333) | 白旗分館
(264-8566) |
| 花見川図書館
(250-2851) | 花見川団地分館
(250-5111) |
| 稲毛図書館
(254-1845) | 西都賀分館
(254-8681) |
| 若葉図書館
(237-9361) | 泉分館
(228-2982) |
| 緑図書館
(293-5080) | あすみが丘分館
(295-0200) |
| 美浜図書館
(277-3003) | 土気図書室
(294-1666) |
| 移動図書館
(287-3983) | 打瀬分館
(272-4646) |

《館内の検索機》予約申込の画面



パスワードを登録しておいてくださいネ!

利用カードの番号とパスワードを入力してログインします。

予約する資料が決まり受取館と連絡方法を指定したら、予約申込ボタンをクリックします。



《館内の検索機》ログイン画面

また、貸出期限の延長・貸出資料の書名等の確認・予約資料の確認も館内の検索機で行えます。

ただし、市外利用者の方（市内在勤・在学の方を除く）が利用できるサービスは、貸出期限の延長・貸出資料の書名等の確認・予約資料の確認に限ります。

① 館内の検索機で、3月1日から資料の予約ができます。

借りたい資料の予約をするには、館内の検索機で資料検索を行った後、予約ボタンをクリックし、利用カードの番号と予め登録しておいたパスワード（3月1日から登録開始・2面参照）を入力します。

これまでは、予約申込館が予約資料の受取館となっていました。予約資料の受取館を指定できるようになり、より便利にご利用いただけます。

また、貸出期限の延長・貸出資料の書名等の確認も館内の検索機で行えます。

コンピュータシステムの更新に伴い、 千葉市図書館はこう変わります！



《千葉市図書館ホームページ》資料詳細検索の画面

用意できました!



早く借りに来ててくださいネ!

ただし、市外利用者の方（市内在勤・在学の方を除く）がインターネットで利用できるサービスは、貸出期限の延長・貸出資料の書名等の確認・予約資料の確認に限ります。

② インターネット（パソコン・携帯電話）で、4月1日から資料の予約ができます。

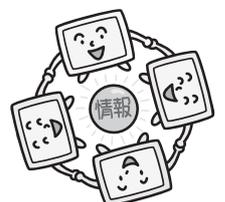
4月1日から千葉市図書館ホームページ (<http://www.library.city.chiba.jp>) がリニューアルします。

ホームページの蔵書検索画面で資料検索を行った後、予約ボタンをクリックし、利用カード番号と予め登録しておいたパスワードを入力します。予約資料の受取館を指定してください。予約資料が用意でき次第Eメールでお知らせします。

また、インターネットで貸出期限の延長・貸出資料の書名等の確認・予約資料の確認ができるようになります。

② インターネット（パソコン・携帯電話）で、4月1日から資料の予約ができます。

4月1日から資料の予約ができます。



③ パスワードの登録について

館内の検索機やインターネット(パソコン・携帯電話)で資料の予約などをするには、事前にパスワードの登録が必要です。

まず、利用申込書に必要事項を記入し、図書館(室)のカウンターにご提出ください。

その際、利用カードと住所の確認できるもの(免許証・保険証等)も一緒にご提示ください。受付をしたカウンターで仮パスワードを発行します。

市外の方で市内在勤・在学の方は、学校や勤務先を確認できるものも必要です。

その後、館内の検索機または、インターネット(パソコン)で仮パスワードを本パスワードに変更してください。

携帯電話でも本パスワードに変更ができます。

④ 利用カードの有効期限が5年になります。

これまで、利用カードに有効期限がありませんでしたが、より正確に利用登録者を把握するため、5年ごとに登録更新をお願いします。

登録後、すでに5年以上が経っている方については、3月1日以降、誕生日を目安に順次登録更新のお願いをします。登録更新を行えば、現在使用している利用カードは、そのまま使うことができます。

登録更新の際には、現住所の確認ができるものが必ず必要です。

パスワードの申請手続きも同時に行うことができます。

⑤ 市民の利用者(市内在勤・在学の方を含む)と、それ以外の方の利用カードを分けます。

現在の登録住所が市外の方は、登録更新をお願いします。

市内在勤・在学の方は、登録更新を行えば、現在使用している利用カードをそのまま使えます。

市内在勤・在学ではない市外の方は、現在使用している利用カードを回収して、市外利用者用の利用カードを新たに発行します。

登録には、現住所の確認ができるもの、市外の方で市内在勤・在学の方は、学校や勤務先を確認できるものも必要となります。

パスワードの申請手続きも同時に行うことができます。

⑥ より多くの市民の方に利用していただくため、予約の受付件数等に一定の制限を設けます。

○ 図書・雑誌・紙芝居は、合計10点まで予約できます。

○ 中学生以上の方は、CD 4点まで、カセットテープ 4点まで、ビデオ・DVDは合計して4点まで予約できます。

⑦ メールアドレスの登録について

予約資料の用意ができると図書館から連絡しますが、インターネット予約を利用される場合は、原則としてメールアドレスの登録が必要となります。

館内の検索機またはインターネット(パソコン)で仮パスワードを本パスワードに変更した後で、メールアドレスを登録してください。パソコン・携帯電話のいずれかのメールアドレスを選択して登録していただきます。

携帯電話からもメールアドレスの登録ができます。

⑧ 自動音声応答サービスを開始します。

自動応答電話の専用電話番号を設け、4月から利用できるようにします。パスワードの登録により、電話(プッシュホン)で、貸出状況の確認・予約状況の確認・貸出期限の延長ができます。また、図書館(室)の利用案内を聞くことができます。

自動応答電話の専用番号は…

043・207・5420

⑨ 館内の検索機の、レシートプリンタで、ご自身の貸出状況や予約状況を印字できます。

⑩ 館内の検索機で検索した書誌一覧が印刷できます。

4月から市図書館・分館では、資料検索後の書誌一覧を1部(A4サイズ)10円で印刷できますので、ご利用下さい。



《館内の検索機、レシートプリンタ、印刷機とコインベンダー》



※なお、移動図書館では、インターネットでの予約など、一部実施していないサービスがあります。詳しくは移動図書館の担当まで直接お問い合わせください。(☎043-287-3983)

地区図書館 & 分館のページ

みやこ図書館

☆企画展示「守ろう千葉の植物」

千葉県自然観察指導員などを務められ、昨年『守ろう千葉の植物』（読売新聞連載・和泉書房刊）を発表された、千葉市在住の福田洋氏の写真作品約40点と関連図書を展示します。県内に自生している希少な植物の、可憐でたくましい姿をぜひご覧ください。「物言わぬ草花、環境が変わっても逃げ出せない植物、これらを減ぼすのも人間なら、守るのも人間、今ならまだ間に合う。（前著『失われゆく千葉の植物』より）」という福田氏のメッセージが、きつと伝わるでしょう。

期間 3月1日(木)～25日(日)
場所 みやこ図書館2階ロビー



若葉図書館

☆「自然に親しむ」をテーマにパネル展示を実施！

～行ってみませんか？～

「大草谷津田いきものの里」

若葉区の大草町と北谷津町に昨年「大草谷津田いきものの里」がオープンしました。そこで撮影したパネル写真を中心に、里山と自然に関する図書館資料の展示を、泉分館と西都賀分館の2館で行いました。

ご覧いただいた方から「こんなに身近な所で自然に親しむことができるんですね」「今度行って見たいね」などの反響がありました。

若葉図書館でも、利用者の皆様

にこの身近な自然のすばらしさを肌で感じてもらうと、3月1日から展示を行いますのでご覧ください。



花見川図書館

☆企画展示のご案内

花見川図書館では、毎月様々なテーマに沿って企画展示を行っています。平成18年度は、「ワールドカップから見える世界」をはじめ、夏の平和図書展「千葉の戦争を知る」や、秋の郷土史講座に関連して「ドイツ兵士の見たニッポン」等のテーマを取り上げ、ご好評をいただきました。

3月は「花の都ちば」をテーマにする予定です。普段図書館のあちこちに散らばっている本に出会うチャンス。ぜひ毎月、お気に入りテーマを探しに図書館へ足をお運び下さい。



☆1月の企画展示
「いのし年生まれ大集合」

緑図書館

☆開館から7年！

緑図書館が開館したのは平成12年4月1日。開館と同時に多くの利用者が訪れ、職員は嬉しい悲鳴を上げました。その後の数ヶ月間は昼休みもゆつくり取れない状態が続きました。子どもたちが眼を輝かせ、本を借りていく姿に、とてもやりがいを感じました。今ではすっかりお馴染みさんになった利用者も多く、花をいただくことも嬉しく思っています。館内に設置してある「利用者の声」には真摯に取組んでいますので、今後も、図書館に対する前向きな提案をお願いいたします。

ところで、心ない行為のため迷惑していることがあります。新聞の切抜きや本の切り取り等です。公共のマナーを守り、利用者の方が気持ちよく図書館を利用できるように、職員も頑張っています。どうぞこれからも図書館を応援してください。



稲毛図書館

☆1年間を振り返って、稲毛図書館で人気のある本をご紹介します。

平成18年 稲毛図書館予約ベスト10

1	名もなき毒	宮部みゆき
2	東京タワー	リリー・フランキー
3	赤い指	東野圭吾
4	ハリー・ポッターと謎のプリンス(上・下)	J.K.ローリング
5	陰日向に咲く	劇団ひとり
6	使命と魂のリミット	東野圭吾
7	還らざる道	内田康夫
8	風が強く吹いている	三浦しをん
9	狼花	大沢在昌
10	風の墓碑銘	乃南アサ

美浜図書館

☆「もう少し…あと少し！」

人口密度が高い地区にあり、交通の便もよい美浜図書館は、たくさんの方々にご利用いただいております。感謝しています。

業務を遂行する中で思うことの一つは、「もう少しゆつたり座れば…」と少し〇〇が広ければ…ということ。利用者の皆様も口には出さなくても同様に思われたことがあるかと思えます。

施設を広げることができませんが、利用者のストレス(?)を少しでも解消するためには、職員が「もう(あと)少し…」という気持ちで自分自身の問題として念頭におき、迅速・的確なサービスを提供することが大切ではないかと思えます。熟練した職員によるスムーズな運営を心がけると同時に、忘れてはならないことだと思えます。



中央図書館『著者を囲む会』 林真理子さんを迎えて



平成18年12月9日(土)、千葉市生涯学習センターの2階ホールを会場に『著者を囲む会』を開催しました。

今年度は、直木賞作家で、現在直木賞選考委員を務めている林真理子さんを迎えて、「小説を書く時間」というテーマでの講演会を実施しました。

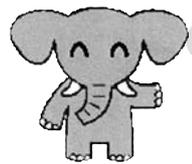
『ちば市政だより』や館内掲示で300名の参加者を募集しましたが、昨年度の『著者を囲む会』終了後のアンケートで「呼んでほしい作家No.1」の講演会とあって、定員の4倍もの応募がありました。

90分間の講演の内容は、幼い頃からの読書体験や読書への思い、コピーライターから小説家になるまでのいきさつなどで、時にユーモアを交えながらの話し、参加者は熱心に聴き入り、あっという間に終了時間を迎えてしまいました。

家族のことやご自身の日常生活の様子、その中で小説を書く材料集めをしていることなど、とても興味深い話を聞くことができ、雑誌に連載している軽快なエッセイ、時代やそこに生きる女性を生き生きと描き出す恋愛小説、取材を重ね綿密に資料を集めて書き上げられた歴史小説等、幅広い精力的な執筆活動の源となっている、林さんの「作家魂」に触れることができたように感じました。



ダンボの耳《図書館Q&A》 「障害者サービス」 「DAISYの編集について」



DAISY(デイジー)とは、音声データを集約ソフトで加工してCD-Rに焼付けたもので、カセットテープに替わる視覚障害者向け録音図書として注目されています。

特長は、1枚のディスクに30時間以上録音が可能なことと、検索性に優れ聴きたい箇所がすぐ探せることです。現在中央図書館では、DAISY版の雑誌『点字毎日』を所蔵しています。貸出もしていますので、ご利用ください。

今後、中央図書館でDAISYの資料を取り入れて行く予定です。

図書館ホット・ニュース

○自動出納書庫を増設しました

中央図書館の地下には、コンピュータ制御された無人の書庫(自動出納書庫)があります。開館以来約6年が経ち、計画蔵書能力が40万冊のこの書庫もほとんど満杯の状態になっています。また、開架書架の本の増加に伴い、この書庫に収容しなくてはならない本も多数出てきています。

このため、昨年末より自動出納書庫の増設工事を行い、3月1日より新たに約13万冊分の書庫が稼働することになりました。

これにより中央図書館は開架30万冊、閉架53万冊の合わせて88万冊が収容可能となりました。今後とも、市民の皆さんに、より充実した蔵書を利用していただけるよう、資料の収集に努めていきます。

おすすめの本(話題の本)

☆『文化ボランティアガイド』 大久保邦子 監修(日本標準)

この本の監修をした大久保邦子さんは、ボランティアコーディネーターとして、精力的に活動しています。本書の中で大久保さんは、「文化ボランティアのいちばんの魅力は、なんといっても自分の趣味や特技など好きなことを生かしながら社会参加や社会貢献ができるということでしょう。」と書いています。また、ボランティアをする側と受入れる側が両面から捉えられ、これからの高齢化社会を豊かに生きるためのヒントを得ることができる1冊です。



千葉市でも読み聞かせのボランティアを養成し、小学校等ではなし会を実施していますが、個々のボランティアの方の自己研修と共に図書館の支援が重要と改めて考えています。

ハートでつくります。つたえます。



<http://www.taiyodoprinting.co.jp/>

営業品目: ビジネスフォーム/商業印刷/情報処理&付帯サービス
システムコンサルティング/ネットワーク&企画商品



株式会社 太陽堂印刷所

本社・営業本部 〒260-0843 千葉市中央区末広1-4-27 TEL.043(222)1122 FAX.043(221)0754
第一工場/TEL.043(268)3311 第二工場/TEL.043(268)8466